

11. 福岡市における食事からの残留農薬一日摂取量調査-平成 25 年度-

保健科学課 加藤 由希子・森川 英俊・常松 順子

環境調整課 堀江 文

第 51 回全国衛生化学技術協議会年会

福岡市民が食品から摂取している農薬の量を把握するため、平成 25 年度に福岡市内を流通した食品を対象として、マーケットバスケット方式による農薬の一日摂取量調査を実施した。対象農薬は、本所で検出事例の多い農薬等も含め、37 農薬とした。調査対象食品は福岡市内の食料品店で購入した 167 品目について「平成 20～22 年度国民健康・栄養調査（北九州ブロック）」に基づき、I～XIV の食品群に分類した後、必要に応じて調理し、調製した。分析方法は「LC/MS による農薬等の一斉試験法 I（農産物）」に準じて行い、農薬の定性・定量には LC-MS/MS を用いた。

分析の結果、4 種の群から農薬を検出した。各農薬の検出値をもとに一日摂取量を算出し、一日摂取許容量(ADI)と比較したところ、対 ADI 比は 0.0006%～0.05% の範囲であり安全上問題ない量であると考えられた。また、農薬が検出された群において、どの食品由来か個別分析を行ったところ、基準値（加工食品については一律基準 0.01ppm）を超えるものはなかった。